

鉄鋼 CO₂ 排出量・原単位計算方法 ISO 規格化スケジュールおよび専門委員会概要

1. ISO 規格化に向けたスケジュール(案)

ISO 規格化プロセス (NWIP、WD、CD、DIS、FDIS、IS) ^{※1} の各段階で、投票、審議、了承を経て、概ね3年で IS 規格発行を目指す方針。

※1: NWIP:新業務項目提案、WD:作業原案、CD:委員会原案、DIS:国際規格案、FDIS:最終国際規格案、IS:国際規格

①2009 年

6 月 13 日 :鉄鋼 CO₂ 排出量・原単位計算方法 ISO 規格化専門委員会、工藤委員長名で TC17 幹事に NWIP (New Work Item Proposal) を提出

6 月～9 月 : NWIP 投票

9 月～10 月 : WD (Working Draft) 投票

9 月～12 月 : TC17 の下部組織としてワーキンググループを設置^{※2}

※2: 実質的な審議は、ISO/TC17 (鋼) の下に複数のエネルギー専門家を登録(登録は5ヵ国以上)した WG (日本は主査及び事務局を努める方針) を今年9月以降に設置して行なう予定。TC: 専門委員会

②2010 年

4 月～6 月 : CD (Committee Draft) 投票

③2011 年

2 月～6 月 : DIS (Draft International Standard) 投票

④2012 年

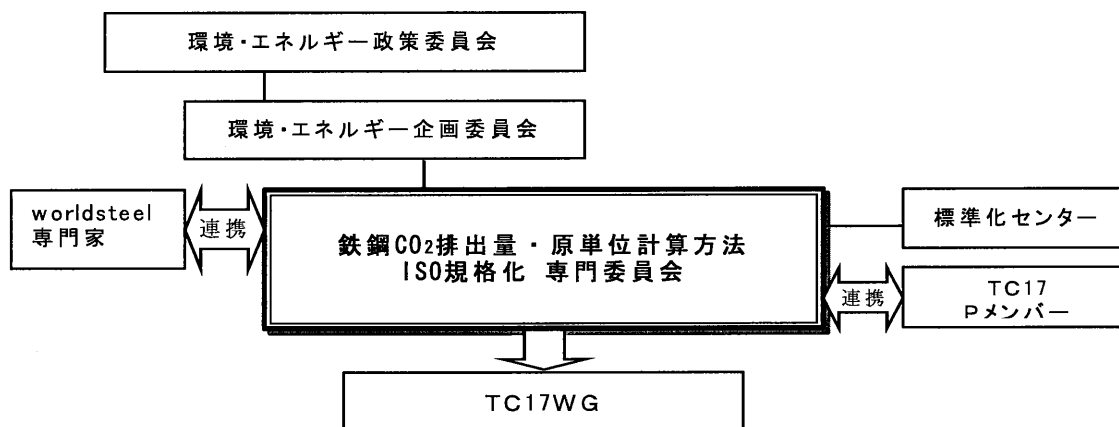
2 月～3 月 : FDIS (Final DIS) 投票

6 月 : IS (International Standard) 発行

2. 専門委員会概要

専門委員会の位置づけ、委員構成は以下のとおり。

(1) 組 織



(2) 委員長・委員構成

委員会は、エネルギー専門家(11 名)及び標準化専門家(3 名)で構成、委員長(TC17WG 主査)は、工藤拓毅財団法人日本エネルギー経済研究所・地球環境ユニットユニット総括、グリーンエネルギー認証センター副センター長。

以 上